

第64回日本学生科学賞 最終審査進出研究作品概要

| | | | |
|-----------------------|---|----|-----|
| JB007CE | 中学 | 生物 | 山形県 |
| 学校名 | 山形市立第四中学校 | | |
| 研究作品タイトル | 馬見ヶ崎川で初となる水生生物 「フロリダマミズヨコエビ」と「チョウモドキ」の発見 | | |
| 研究者氏名 (共同の場合はグループ) | 伊藤 隼 | | |
| 指導教諭氏名 | 高橋 永子 | | |

【動機】

山形市民にとって身近な馬見ヶ崎川がどの位きれいなのか、2016年から調査の時期や場所を変えて調べたところ、2019年、2020年にこれまで見たことがない水生生物2種を見つけたので同定した。

【方法】

水生生物の採取方法は、環境省の水生生物調査の方法を参考に行った。その場で同定できない水生生物は持ち帰り、標本にした。その後、水生生物の特徴をインターネットや文献などで調べて同定した。

【結果】

2019年にヨコエビ、2020年にチョウ類を採捕した。これらを同定したところ、山形市では初発見となる「フロリダマミズヨコエビ」と、山形県で初発見となる「チョウモドキ」であることがわかった。

【まとめ】

2019年にフロリダマミズヨコエビを、2020年にチョウモドキをそれぞれ初めて発見した。調査した場所でだけ、これらの水生生物が確認され、上流で確認できないのは、水無川になる馬見ヶ崎川の特徴が影響していると考えられた。

【展望】

フロリダマミズヨコエビも、チョウモドキも、農業や水産業に影響する可能性がある水生生物である。これらの水生生物が馬見ヶ崎川にどの程度分布しているのか、さらに調査範囲を広げて調

べる必要がある。